

2014年4月18日

News Release

麻美ゆま、LinQ等が小児・若年層(15~29歳)の女性のがんを応援！
がん疾患啓発・治療研究推進のためのチャリティー・ライブ
「Rock Beats Cancer FES Vol.4～Girls Session～」へ特別協賛
開催日:2014年6月6日(金) 場所:LIQUIDROOM(リキッドルーム)

チューリッヒ・ライフ・インシュアランス・カンパニー・リミテッド(以下「チューリッヒ生命」、日本支店:東京都中野区、日本における代表者:太田健自、URL:<http://www.zurichlife.co.jp/>)は、2014年6月6日(金)にLIQUIDROOM(東京都渋谷区)で開催されるチャリティー・ライブ「Rock Beats Cancer FES Vol.4(ロック・ビーツ・キャンサー・フェス Vol.4)」に特別協賛し、メインスポンサーとしてイベントをサポートいたします。なお、チューリッヒ生命が同イベントへメインスポンサーとしてサポートを行うのは、昨年大阪公演、東京公演に引き続き3回目となります。



Rock Beats Cancer FES(ロック・ビーツ・キャンサー・フェス)は、小児がんと若年層(15~29歳)のがんの疾患啓発や患者支援、研究推進の支援を目的としたチャリティー・ライブです。4回目となる今回のイベントでは、「Girls Session(ガールズ・セッション)」と題して、小児・若年層のがんの中でも女性ならではの後遺症や悩みのある「女性のがん」にフォーカス。出演者は女性のみとなっており、司会の町亞聖さんをはじめ、昨年、卵巣境界悪性腫瘍の治療を乗り越えた麻美ゆまさんや小児がん体験から音楽を通じてがん啓発活動を続けるより子さん、小児がんの疾患啓発や募金活動を行うアイドルグループLinQ(リンク)等が、がんについて正しく知ることの大切さについてお伝えしてまいります。

なお、今回のイベントで集められた寄付金は樋口宗孝がん研究基金(MHF:Higuchi Munetaka Foundation For Cancer Awareness and Research)を通じて、小児・若年層のがんの患者支援、疾患啓発および研究推進のために活用されます。



写真左より、麻美ゆま、LinQ、涙-NAMIDA-、より子(順不同・敬称略)

また、当社が当イベントを支援するにあたり、チューリッヒ生命 日本における代表者の太田健自は次のようにコメントしています。

「小児・若年層のがん、日本における治療環境や治療法、薬の研究は他のがんに比べて遅れており、さらに治療を終えた後も、後遺症や学業の遅延、就職等の課題が多いといわれています。チューリッヒ生命は、樋口宗孝がん研究基金の趣旨に賛同し、昨年に引き続き支援を行います。Rock Beats Cancer FESを通じて、小児・若年層のがん患者の療養やサポートを行うための施設の設立、新しい薬や治療法の研究推進等に貢献できれば幸いです。」

チューリッヒ生命は、今後も、がん患者の方々が前向きに安心して治療に臨めるよう、がんの疾患啓発や患者支援、そして新たながんの治療法の研究開発へのサポートを積極的に行ってまいります。

Rock Beats Cancer FES (ロック・ビーツ・キャンサー・フェス) とは

Rock Beats Cancer FES (ロック・ビーツ・キャンサー・フェス) は、がんの疾患啓発や患者支援、治療研究の推進のための支援基金「樋口宗孝がん研究基金 (MHF: Munetaka Higuchi Foundation For Cancer Awareness and Research)」が企画するチャリティーイベントです。2013年に初めて開催され、大阪 (2月)、東京 (7月)、京都 (10月) の三箇所で実施いたしました。

※今までのイベントにご賛同いただいた主な出演者 (※順不同、敬称略)

LOUDNESS (ラウドネス)、デーモン閣下、斉藤和義、GRANRODEO (グランロデオ)、奥田民夫、JAM Project、BABYMETAL、LinQ、影山ヒロノブ、大槻ケンヂ、ROLLY、都啓一、久宝留理子など

「Rock Beats Cancer FES Vol.4～Girls Session～」 イベント概要

- ・開催日 : 2014年6月6日 (金) 開場 : 18:00 開演 : 19:00
- ・場所 : 恵比寿LIQUIDROOM (リキッドルーム)
- ・主催 : Rock Beats Cancer !! 実行委員会
- ・企画 : 樋口宗孝がん研究基金
- ・チケット : 3,500円 (税込・ドリンクチャージ別) ※チケットお問合せ : LIQUIDROOM 03-5464-0800
- ・定員 : 1,000名
- ・司会 : 町亞聖 (敬称略)
- ・出演アーティスト : 麻美ゆま、LinQ (リンク)、涙—NAMIDA—、より子、他 (順不同、敬称略)
※2014年4月18日現在
※第2弾出演アーティストは5月上旬発表予定
- ・公式ホームページ : <http://www.cancernet.jp/rbc/04/>

本件に関する報道関係者様のお問い合わせ先 :

チューリッヒ生命 (チューリッヒ・ライフ・インシュアランス・カンパニー・リミテッド)

マーケティング・コミュニケーション部 広報担当 : 中本、石川

Tel : 03-6832-1612 Fax : 03-6832-1620 E-mail : jpzmmo@zurich.co.jp

■小児がんについて

日本では、毎年約2,000人の子供が「がん」と診断されており、子供の人口の約1万人に1人が小児がんにかかっているといわれています。近年、徐々に治療環境の整備などが進められていますが、まだ十分といえる水準ではなく、治療法や薬の臨床研究においても他のがんに比べて遅れています。また、がんを克服し大人になってもがんの治療による成長の遅れや身体的障害、後遺症を抱えている人も多く、就学や就労など社会で自立するための支援を必要としており、大人のがんと異なるさまざまな課題があります。

■若年層世代（15～29歳）のがんについて

若年層世代は、AYA（アヤ：Adolescent and young Adult(思春期と若年成人)の略）と呼ばれ、一般的に15歳～29歳の世代を指します。AYA世代のがん患者は、治療中やその後の生活の中で、就学、就労、恋愛、結婚、出産など人生のターニングポイントとなる様々な出来事と向き合う機会が想定され、高齢のがん患者とは異なるAYA世代特有の問題があると考えられています。

■樋口宗孝がん研究基金(MHF)について

樋口宗孝がん研究基金（MHF：Munetaka Higuchi Foundation for Cancer Awareness and Research）は、正しいがんに関する情報や知識の啓発、より一層のがん研究の推進に資する事を目的に2012年4月、がん医療情報を発信するNPO法人キャンサーネットジャパンを事務局として設立されました。

基金の名称は、2008年11月30日、肝細胞がんで逝去したLOUDNESSのドラマー樋口宗孝氏の偉業を称え、同氏の名前にちなんで名づけられました。同基金では、チャリティライブ、イベント、グッズ販売等を通して、その収益を本基金の財源とし、がん疾患啓発イベント、がん研究団体・研究者に対する支援活動を展開してまいります。

※樋口宗孝がん研究基金(MHF)公式ホームページ：<http://www.cancernet.jp/mhf4car/>



■チューリッヒ・インシュアランス・グループについて

チューリッヒ・インシュアランス・グループは、グローバル市場および各国市場において幅広い商品ラインアップを揃える世界有数の保険グループです。スイスのチューリッヒ市を本拠に1872年に設立され、55,000人を超える従業員を有し、世界170カ国以上の個人、そして中小企業から大企業までのあらゆる規模の法人およびグローバル企業のお客様に、損害保険および生命保険の商品・サービスを幅広く提供しています。持ち株会社であるチューリッヒ・インシュアランス・グループ社（銘柄コード：ZURN）はスイス証券取引所に上場しており、米国においては、米国預託証券プログラム（銘柄コード：ZURVY）のレベル1に分類され、OTCQXにて店頭取引されています。チューリッヒグループに関する詳しい情報はwww.zurich.comをご覧ください。